

# 大学教育のグローバル化を目指した当面の施策について(案) (概要)

## 趣旨

グローバル化が進展する中、高等教育に関する国際的な競争が激化するとともに、共同・連携(知のネットワーク化)の動きも加速化。  
(例)ボローニャプロセス、エラスムス計画 等

**我が国の高等教育の国際化を早急に進めることが不可欠**

◎目指すべき大学教育のグローバル化の目標: **国際的に活躍できる人材を育成する**

## 基本方針

H20~H24までの5年間を見据え、例えば、自然科学系の先端的な教育研究や特定課題の解決に向けた国際的な協力・貢献、開発支援等、国際的に活躍できる人材の育成を目指す大学の取組を念頭に置き、とりまとめ

## 現状と課題

- ・外国大学とのダブル・ディグリーの導入: 17大学(H17年度)
- ・外国大学との単位互換: 2,943人(H17年度)  
(国外大学での履修を認められた学生数)
- ・英語による授業のみで卒業できる大学: 5大学(H17年度)  
(学士課程)

◎留学生比率(留学生受入数/高等教育機関在学者数(%))

アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	オーストラリア	日本
5.5%	24.9%	12.3%	11.9%	24.2%	3.3%

◎外国人教員比率: 本務者 3.5% 兼務者 6.8%(平成18年度)

**諸外国の動向を踏まえると、我が国の大学の取組を加速させることが喫緊の課題**

## 大学教育の国際化を支援する文科省の重点的な取組

### 国際通用性のある教育の推進

- ◎国際的な教育連携に対する支援
  - ・知のネットワークの積極的・活用
  - ・各大学の国際化戦略に基づいた総合的・体系的な取組(ダブル・ディグリー等の相互連携や英語による授業等を組み合わせた総合的な取組等)に対する支援
  - ・多彩な国際交流プログラムの実施の支援 等
- ◎大学教育の国際化を支える環境の整備
  - ・9月入学の促進、 Semester制の活用
  - ・海外への教員等の研修派遣等を通じた教育改善の促進 等
- ◎国際競争力のある卓越した教育研究拠点の形成
  - ・「グローバルCOEプログラム」の実施

### 取組の加速

### 優秀な学生の国境を越えた流動性の拡大

- ◎日本人の海外留学機会の拡大
  - ・短期プログラムや博士課程学生の積極的な派遣支援
- ◎新たな留学生交流の意義に着目した留学生政策の推進
  - ・外交戦略に対応した柔軟な留学生受入れを展開する観点から、国費外国人留学生制度における「戦略機動枠」の創設・活用
- ◎各大学の国際戦略に基づく多様な留学生交流の推進
  - ・大学の人材獲得インセンティブがより発揮されるような国際的に魅力ある留学生受入れプログラムの支援充実
- ◎「生活者としての留学生」の側面の重視
  - ・各大学等による民間資金を活用した宿舍整備への協力

国際的に活躍できる人材を多数育成

# グローバル化プラン(仮称)の重点的な取組による人材育成のメカニズム

(イメージ)

魅力ある教育に惹きつけられた優秀な学生の流入による流動性の拡大

国際通用性のある教育の推進

優秀な学生の  
国境を越えた流動性の拡大

優秀な学生の流入による世界最高水準の卓越  
した教育研究拠点の形成促進

日本人学生に対する海外留  
学機会の拡大を通じた人材  
育成

国際通用性のある教  
育による人材育成

国内外の学生が互いに刺激を受けつつ、切  
磋琢磨する環境の中での人材育成

国際的に活躍できる人材の育成